

2019 年度 事業計画

1. 事業の概要について

(1) 顕彰事業（京都ヒューマン賞）

- ・地域の社会福祉、青少年の健全育成、男女共同参画の推進、生活環境・地球環境の整備等の分野で社会貢献活動をされ、顕著な功績をあげた京都と関わりのある（京都在住、活動の拠点や原点が京都にある等）個人や団体・グループを顕彰する。
- ・2019 年度の京都ヒューマン賞の贈呈式および懇親パーティーは、2019 年 6 月 4 日（火）11:00～13:00 リーガロイヤルホテル京都にて開催する。

(2) 助成事業

- ・当法人の事業目的に合致し、地域の社会福祉、青少年の健全育成、男女共同参画の推進、生活環境・地球環境の整備等の分野において、原則として京都府内で社会貢献活動を行う個人や団体・グループに対して経費の一部助成を行うとともに、京都府内で子ども食堂を開設・実施している団体に対して、年間利用人数に応じて助成上限金額を設定し、その範囲内で年間運営費用の一部助成を行う。
- ・2019 年度の助成事業予算について、一般助成は前年度実績(見込み)並みの 650 万円とする。子ども食堂への助成予算は 470 万円（前年度見込み比 174 万円増）とし、助成事業の合計で 1,120 万円とする。
- ・助成は、複数の外部有識者による助成適正評価、専務理事の同意意見、理事長の決裁により実施する。

(3) 広報・宣伝活動

- ・当法人の事業内容について、ホームページ上での告知、マスコミ発表、Facebook や京都府のメーリングリストによる告知、オムロン基金の紹介チラシの配布を継続するとともに、子ども食堂助成制度については独自のパンフレットを作成し、関係先に配布していく。

2. 法人運営費用について

(1) 収支計画について

（収入）

- ・基本財産の運用益は、432 万円を見込む。
- ・オムロン株式会社株式 20 万株の配当金として、6 月末および 12 月初めにそれぞれ 840 万円ずつ、年間合計 1,680 万円の収入を見込む。
- ・オムロン株式会社から 200 万円の寄付金を見込む。（法人会計費として）
- ・公益目的事業会計区分の事業積立資産 60 万円および法人会計区分の法人運営積立資産 100 万円を取り崩し、一般正味財産の経常収益にそれぞれ振替を行う。
- ・この結果、経常収益の見込みは、前年度予算より 58 万円減、前年度(見込み)比 248 万円増の 2,472 万円を見込む。

(支出)

- ・顕彰事業費（懸賞費用、式典費用等）は、前年度予算比および見込み比でほぼ同額の 550 万円とする。
- ・助成事業費は、前年度予算比 120 万円増、前年度(見込み)比 175 万円増の 1,120 万円とする。
- ・公益目的事業の管理費は 287 万円とする。
- ・この結果、公益目的事業費の合計は、前年度予算比 140 万円増、前年度(見込み)比 179 万円増の 1,957 万円とする。
- ・法人会計の管理費は、前年度予算比 19 万円増、前年度(見込み)比 10 万円減の 327 万円とする。
- ・この結果、経常費用の合計は、前年度予算比 159 万円増、前年度(見込み)比 169 万円増の 2,285 万円とする。
- ・公益目的事業会計の収支相償については、約 44 万円の赤字となる見込み。

(2) 資金調達および設備投資

当期間において、資金調達のための借入れや重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はありません。